

埼玉教育の針路 -不易流行-

一人一人がより一層大切な「人財」

- 自らの力で人生を切り拓き、自分の人生に満足できる生涯を送ることができる人
- 「ならぬことはならぬものです」といった人としての基本を身に付けた人
- 多様な価値観を許容し、付加価値を産み出すことができる人
- 地域や埼玉そして日本の将来を担い、社会に役立つ人
- 郷土や我が国の歴史、文化を誇りに思い、世界から尊敬されるような人

10年後の社会状況

- 1 人口動態の変化
 - ・ 生産年齢人口が大幅に減少
 - ・ 少子化が加速
- 2 産業構造の変化
 - ・ グローバル化の進展
 - ・ 産業の中心が製造業からサービス業へ
 - ・ 急速な技術革新による労働環境の変化
- 3 子供の抱える課題への対応
 - ・ 生活保護世帯で育った子供が、大人になって再び保護を受けることを防ぐ必要性
 - ・ 不登校やひきこもりを長期化させない必要性

社会の中で役割を果たすことのできる「人財」の育成

義務教育

「体力」「規律ある態度」に加え、「学力」でも全国トップクラスの水準へ

高校教育

県立高校の「活性化・特色化」を進め、グローバル社会など時代の要請に応える「人財」を輩出

特別支援教育

高等部で、一般就労を希望する生徒の支援の徹底

生徒指導

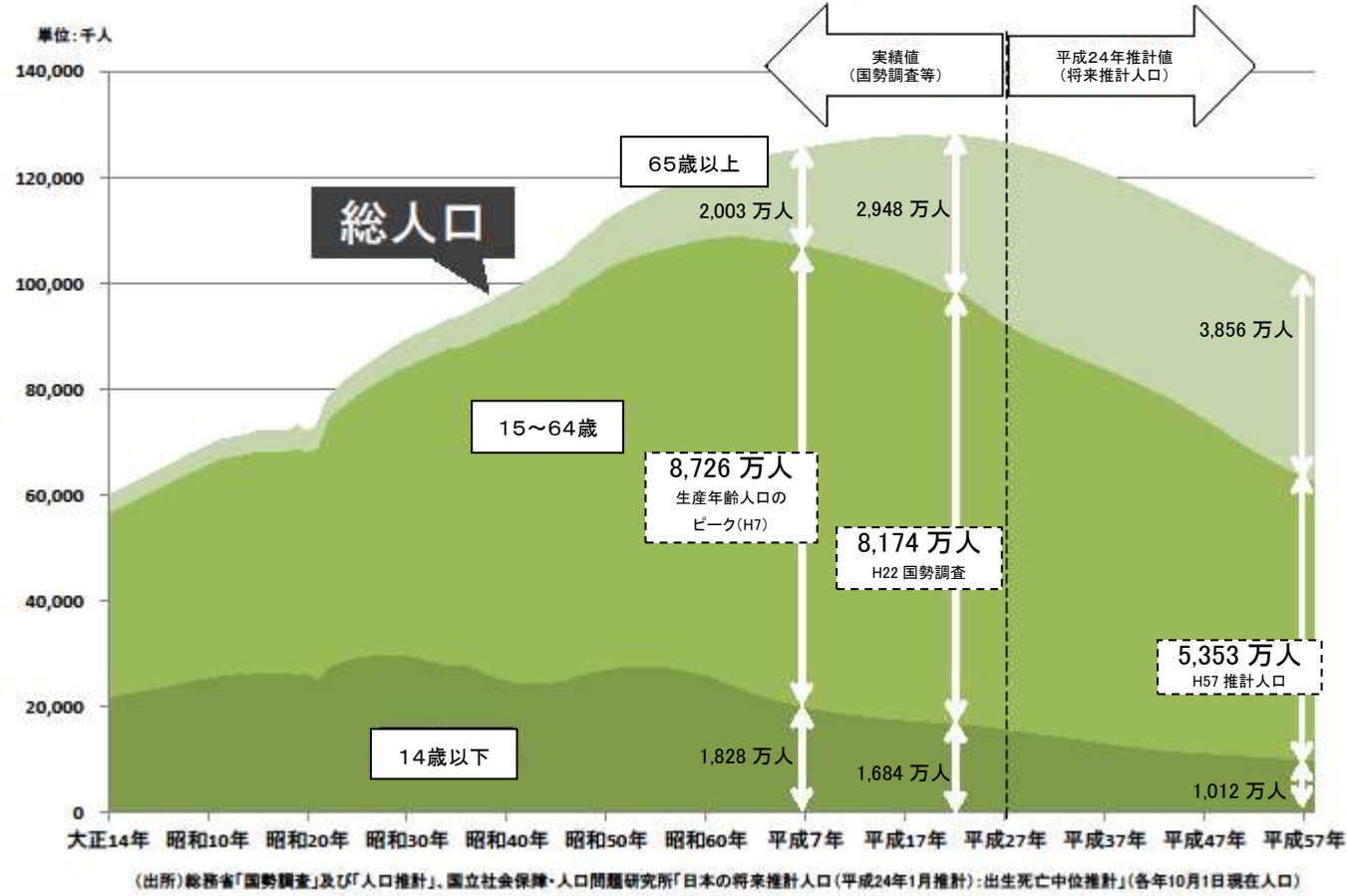
不登校児童生徒の割合、高校中途退学者の割合が全国一少ない水準へ

家庭・地域との協働

家庭・地域と協働した早期支援で貧困の連鎖をストップ

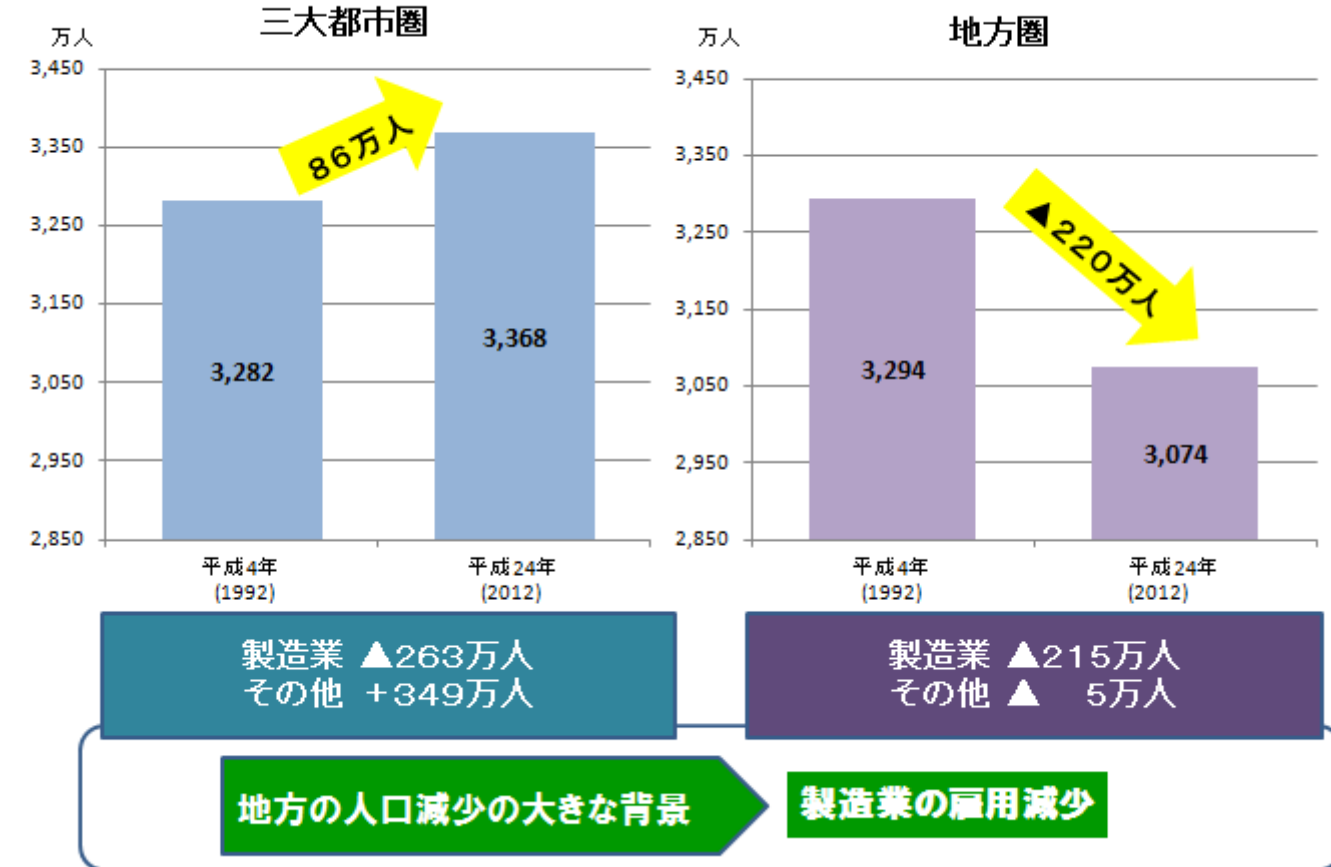
「開かれた学校づくり」から「地域住民、企業、大学等と協働した学校づくり」へ

日本の人口の推移



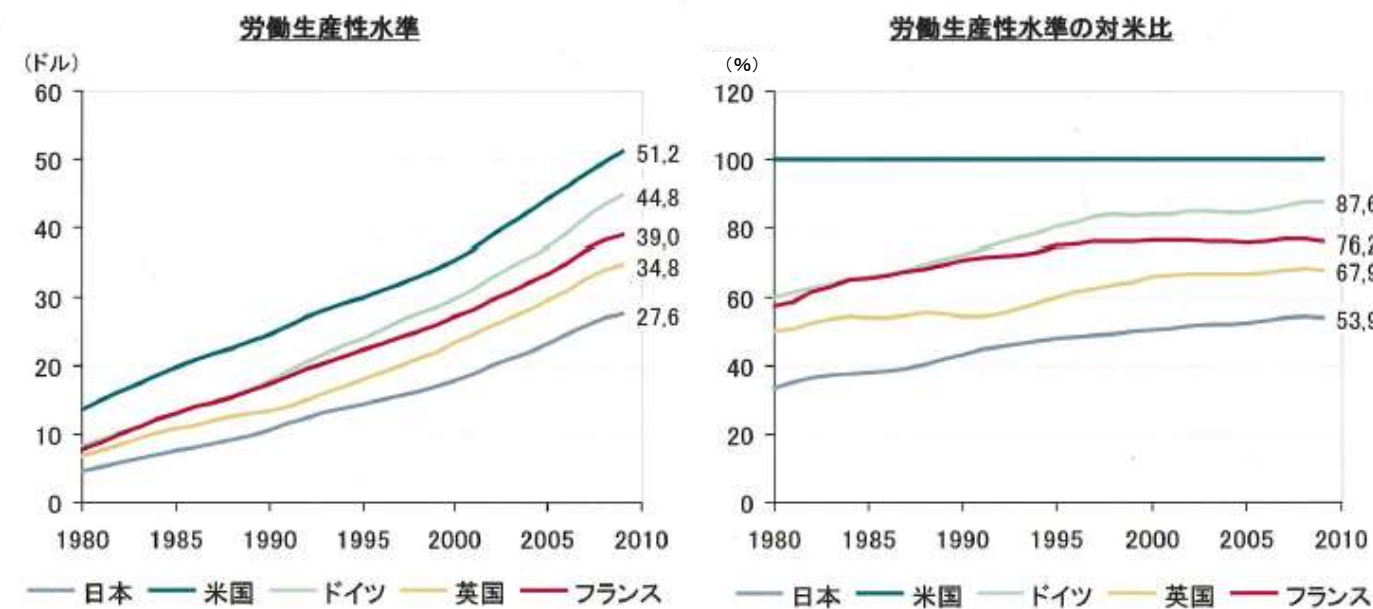
就業者数の推移

総務省「就業構造基本調査」



非製造業の労働生産性の国際比較

◆ 日本の生産性は、米国の5割程度にとどまっておき、欧米諸国(独、仏、英)と比較しても低水準となっている



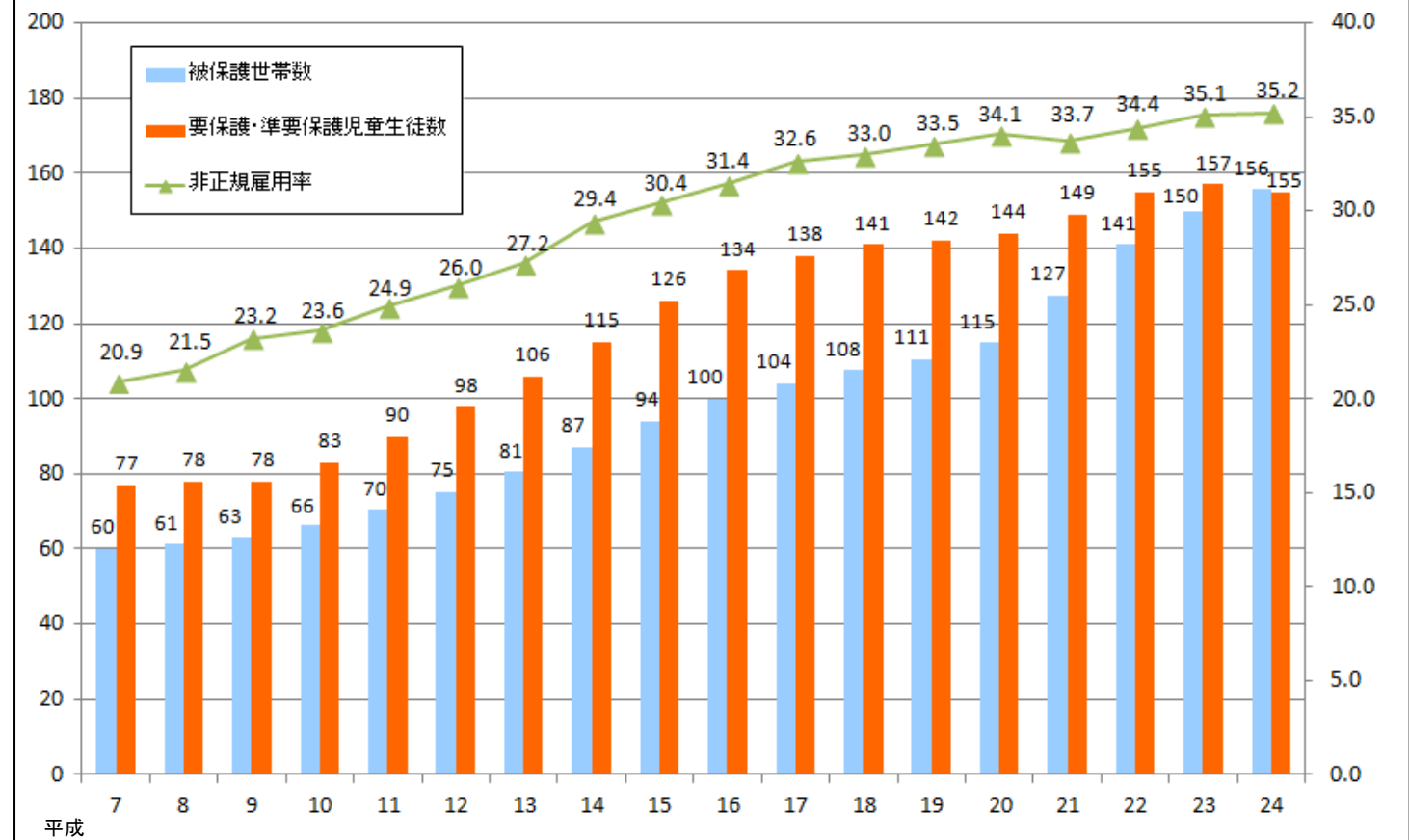
出所:経済産業省「通商白書2013」

※ 総務省「まち・ひと・しごと創生会議」資料より一部抜粋

生活保護世帯数、要保護・準要保護児童生徒数及び非正規雇用率の推移

単位:万

単位:%



埼玉県公立中学校及び全国中学校3年生生徒数 将来推計

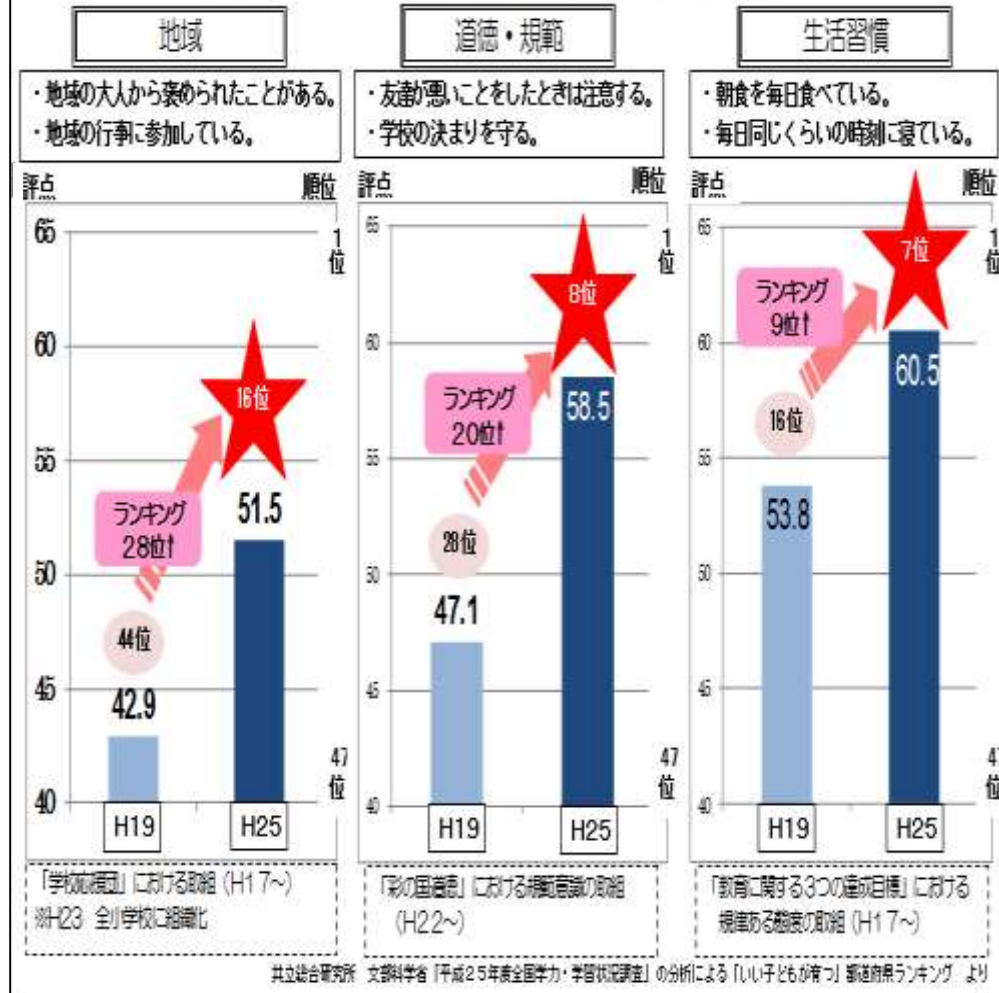


【全国体力テスト、全国学力・学習状況調査の全国順位】

		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
体力	小5	男	12	10	11		14	6	6
		女	8	6	10		7	5	5
学力	中2	男	9	8	11		12	7	4
		女	4	4	5		4	4	3
学力	小6	総合	15	22	13		28	29	29
		国語A	19	26	14		29	27	30
		国語B	14	16	12		23	20	21
		算数A	25	38	17		38	36	38
		算数B	12	14	16		19	27	23
		理科					30		
学力	中3	総合	36	36	31		41	27	30
		国語A	35	38	30		34	26	25
		国語B	24	32	22		30	12	19
		数学A	41	37	33		42	32	34
		数学B	39	38	31		33	29	28
		理科					44		

※「学力」のH22～H24は抽出調査。H25、H26は悉皆調査

「いい子どもが育つ」都道府県ランキング【分野別】



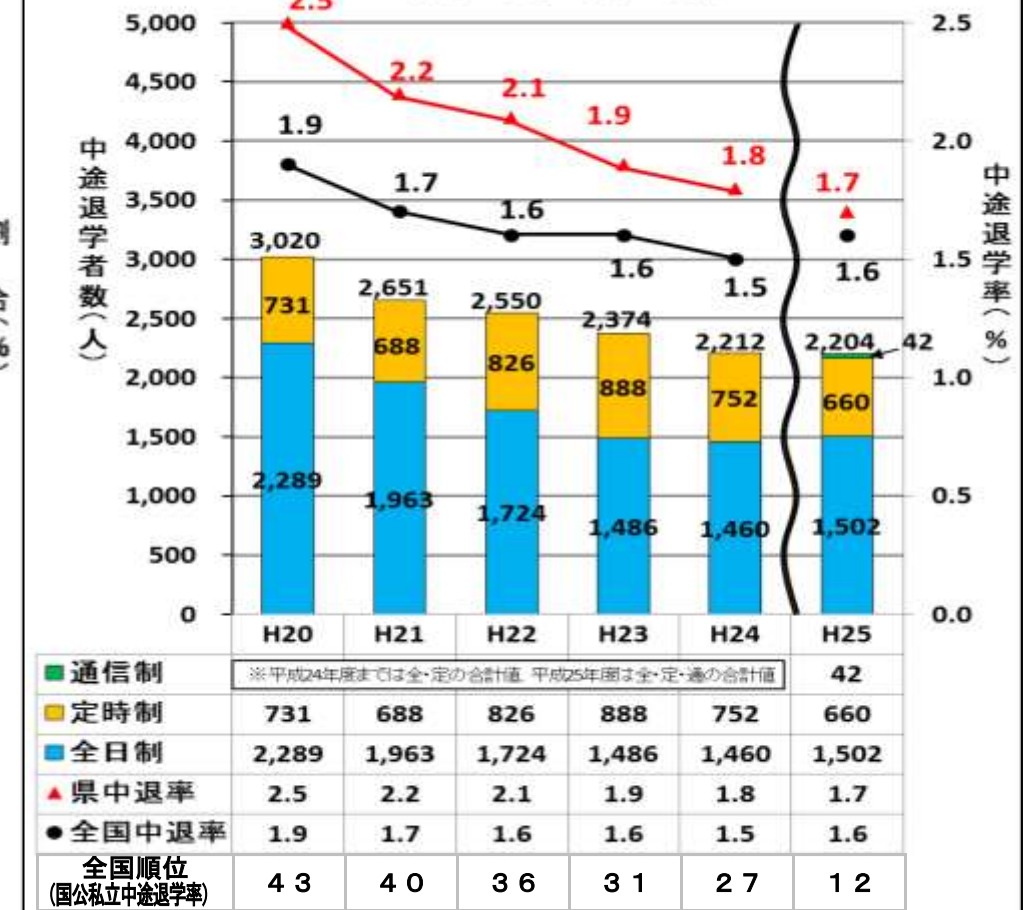
埼玉県の不登校生徒数と埼玉県及び全国の不登校の割合の推移 (平成20年度～平成25年度) (公立中学校)



※文部科学省「平成26年度学校基本統計」による

※中学校は公立中等教育学校(前期課程)を含む。不登校の割合(%)=不登校生徒数÷在籍生徒数×100

埼玉県公立高等学校中途退学者数・中退率の推移 (平成20年度～平成25年度)



文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(平成25年度)」